

小宮山豊君参加写真展鑑賞の報告

成澤文和（4組）

10月14日、六本木にある富士フィルムフォトサロンを訪問してきた。

プロのマクロ写真家江口慎一氏が主宰するアマチュア写真同好会（写真楽園）の作品展「光の森」に小宮山君が出品していた為である。

会場近くの東京ミッドタウンにあるイタリアレストランに2組の小宮山君、上原昇君、関賢治君それに成澤の4名が集合して昼食後会場に向かった。

江口慎一氏によるとこの「光の森」作品展のコンセプトは四季折々の自然美や造形の妙味を軸としたクローズアップから風景まで各個人それぞれの自由な発想と表現による作品群でまとめているとのことでした。

小宮山君の作品はマクロレンズによる蜘蛛の巣（糸）を撮ったものでタイトルは「銀河のロンド」である。

蜘蛛の巣はマクロレンズの撮る角度や太陽光の当たり具合により様々な模様が映しだされ、非日常の世界が表現されるが、この間筆者もマクロレンズで撮ってみたが上手くいかず、難しいことが分かった。

小宮山君の作品をはじめ会員の作品を十分に鑑賞後帰途についた。



左から 上原、成澤、江口慎一氏、小宮山、関

小宮山君作品
「銀河のロンド」



10 14 2020